

平成23年度玄海町立有浦中学校 学校評価計画

1 学校教育目標 志をもち、心豊かでたくましい生徒の育成
2 学校経営ビジョン
《めざす学校像》・規律と活気のある学校……………規律があり、学習や運動が積極的にできる学校 ・楽しい学校……………友情と信頼に支えられた明るく楽しい学校 ・きれいな学校……………環境が整備され生徒の活動が良く分かる学校 ・開かれた学校……………学校・家庭・地域の交流が盛んで地域に信頼される学校 《めざす生徒像》・夢や希望と志をもつ生徒……………夢と希望を持ち夢の実現に向けて努力する生徒 ・自らよく考え学ぶ生徒……………創始工夫を凝らし、意欲的に学習に励む生徒 ・心豊かで思いやりのある生徒……………思いやりがあり友達と仲良く協力し合う生徒 ・健康で明るくたくましい生徒……………心身ともに健康でたくましくがんばり抜く生徒 ・「ありがとう」が言える生徒……………感謝の気持ちを素直に言葉にできる生徒 《めざす教師像》・愛情豊かな教師……………常に子どもと共にあり、心豊かで人間味あふれる教師 ・意気盛んな教師……………教育者としての使命を持ち、意欲的・積極的な教師 ・力量豊かな教師……………教育専門職としての自覚に立ち、研究・研修に励む教師 ・信頼される教師……………心身共に健康で、子どもや保護者から信頼される教師

3 本年度の重点目標	4 前年度の成果と課題
(1)学力の向上	学校目標として掲げた「心の教育」「学力向上」「健康・体づくり」についてはおおむね目標を達成できた。しかし、学力向上については、学年ごとに考えた場合、基礎基本の定着、家庭学習の習慣化など、指導の効果が上がっていない学年もあり、更に指導方法の工夫が必要である。また、健康・体づくりについての生徒の朝食摂取率が低いことから、個々の具体的な目標面では反省すべき点も多く見られる。また、全体的に職員が厳しい評価をしている点については、もっと高い目標をもち、改善を図りたいとの思いの表れであると感じる。不登校傾向の生徒への対応、特別な配慮を要する生徒への指導については、職員の研修を深めたこと、関係機関との連携を図るなど一定の成果を上げることができた。保護者はほとんどの項目について80%以上の肯定的評価をしていることから、本校の教育活動の成果を昨年同様認めてもらっていると感じる。生徒については「学校教育目標の認識」「教育相談の充実」について低い評価となっている。
(2)豊かな人間性の醸成	
(3)たくましい身体づくり	

5 総括表

① 学力の向上

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	○教職員の資質向上	授業研究の推進と研修の充実	全教諭の授業研究会を実施する。	学年集団を中心に生徒一人ひとりの実態に応じた効果的な指導方法を検討する。
教育活動	●学力向上	学習習慣の確立	毎日の宿題の提出を90%以上とする。	ニューフレンズも学習内容をワークエンドテスト及び定期テストに反映させることで、家庭学習の習慣を定着させる。宿題の量を教科任せにせず全体でバランスをとる。
		指導方法の工夫改善	・低位の生徒の割合を減らす。 ・「授業が分かる」生徒の割合を85%以上にする。	各教科において、指導法を職員研修で再確認し、より分かりやすい授業を展開する。 少人数TT指導を充実し、生徒一人ひとりの実態を踏まえた指導を行う。 ウィークエンドテスト、有浦タイムを利用し基礎・基本の定着を図る。 各教科において先進的ICT活用に積極的に取り組む。
		小中連携の推進	小中学校の職員交流を通して互いの指導方法についての理解を深める。	小中交流会を年2回開催し、小中学校相互の授業参観を実施する。
教育活動	○キャリア教育	進路指導の充実	各学年ごとのキャリア教育に位置付けられた活動を充実させる。	学活や教育相談の時間を計画的に活用し、進路についての学習の充実を図る。

② 豊かな人間性の醸成

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●心の教育	道徳の時間の充実	道徳の時間を通して心豊かな人間性を育むとともに保護者への啓発を行う。	玄海町教育の日に、全クラスで道徳の時間の授業を保護者、地域の参観者に公開する。
		ボランティア活動の充実	地域のボランティア活動に全校生徒の60%を参加させる	生徒会と連携し校内ボランティア活動に取り組み、ボランティア活動の意義について理解させる。
教育活動	○生徒指導	生徒指導の充実	基本的な生活習慣の確立を図り、遅刻、服装違反をなくす。 生徒生徒指導連絡協議会で情報交換を密にし、組織的な指導を行っていく。	生徒会を中心とした3分前行動の徹底、服装検査の充実を通じ、生徒一人ひとりの意識を高める。 週1回の担当者会、月1回の生徒指導連絡協議会を持ち、生徒指導の共通理解、共通実践を図る。
		教育相談の充実	一人ひとりの生徒の理解に努め、個に応じた指導を図る。	年2回の教育相談を実施(担任、副担任、SC)する。 年2回のQJアンケートを実施、分析を行い効果的に活用する。
教育活動	○読書指導	読書指導の充実	年間貸し出し冊数一人40冊を目標に図書司書補と連携し読書奨励を行う。	全校で朝の読書を実施する。 生徒会専門委員会による読書奨励活動を実施する。

③ たくましい身体づくり

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●健康・体づくり	望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	朝食摂取率を95%にする。	朝食の大切さを指導し、食事の重要性、食事の喜び、食事の楽しさを理解させる。
		部活動の充実	毎日の活動を通じ体力、精神力を身につけさせる。 体カテストで全項目県平均を上回る。 よりよい人間関係、集団行動、礼儀を身につけさせる。	保護者、生徒に対し、部活動の意義、目的を機会あるごとに伝えて行く。 部活動入部率を90%以上を目指す。

本年度の重点目標に含まれない共通評価項目

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
----	------	--------------------	-------	-------

●は共通評価項目、○は独自評価項目